

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		循環バス試行運行事業		<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	4	公共交通の充実	所属課	企画財政課	担当者名	後藤 章博
	基本事業	11	公共交通の利便性の向上	所属班	政策企画班	(内線)	1245
				法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	-		
	1	2	1	9	10053			コスト削減優先度評価結果	-		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (18	~	22	年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
合併により市民の生活交通としての市内循環バスを18年2月28日から試行運行する事業である。
①バス事業者へ運行委託し、運行費用から運賃収入を差し引いた残額を市がバス事業者へ補助する。
②試行運行期間中に実態調査・分析を行い、運行形態や運行コース・時間などについて再検討を行う。
【業務の流れ】
①バス事業者と試行運行委託契約し、毎月の運行状況を確認、年度末の委託料支払い事務を行う。
②コンサルタントとの施行期間中の調査委託契約と、調査分析の報告を受けての協議を行う。
【主な予算費目】運行事業補助金
1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	市内6コースの循環バス試行運行を継続する。
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)		市内6コースの循環バス試行運行を行った。
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	回数
	→	回数
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	→	件
循環バス運行計画 市民	→	人口
	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	コース
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	→	コース
利用者の目的に沿った運行計画案の基礎となる調査データを得る。	→	利用者の総数
円滑に行動できる。	→	人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	%
各交通機関で円滑に移動できる。	→	%
	→	JR、熊本電鉄を使って円滑に移動できていると答えた市民の割合
	→	バスを使って円滑に移動できていると答えた市民の割合

(2) 総事業費・指標等の推移											
	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 18 ~ 22 年度		
投入量	事業費	国庫支出金	千円						総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度		
		都道府県支出金	千円	1,470	1,391						
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	千円	16,870	12,391	10,270	9,532	10,018	5,000		48,811	
	うち指定経費	千円	18,340	13,782	10,270	9,532	10,018	5,000		51,672	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	3	5	3	3	3		3	14
	延べ業務時間	時間	672	536	50	70	70	35			1,348
(B)人件費計	千円	2,668	2,133	199	279	279	139	0	5,365		
トータルコスト(A)+(B)	千円	21,008	15,915	10,469	9,811	10,297	5,139	0	57,037		
活動指標	回数	2504	2261	1785	1768	1768	884				
対象指標	件数	1	1	1	1	1	1				
成果指標	コース数	5	7	6	6	6	6				
	人	17,807	11,501	12,000	12,996	13,000	7000				
上位成果指標	%	66.8	65	66.8	69.2	66.8	66.8				
	%	63.2	68.5	63.2	65.6	63.2	63.2				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成13年度から老人憩いの家やユー・バス弁天などの施設の利用推進と利用利便性の向上を図るため運行していたが、合併により新市の運行形態について見直し検討を行うため試行運行を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成21年度より3か年をかけて合志市地域公共交通計画に基づき、国の地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金を受けて各種実証実験を実施することになった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
市民からバス停の位置、コース、時間、回数の変更について意見や要望がある。具体的には老人憩いの家の滞在時間を考慮した時刻設定、買い物や通院に適した時間やコース、庁舎間をつなぐ運行コースの設定、乗車時間の短縮など。

事務事業名	循環バス試行運行事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 循環バスの運行は、市民が目的地まで移動しやすくなり、その結果移動が円滑にできる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 既存のバス路線が縮小廃止されてきていることから、高齢者や障害者などの交通弱者の移動手段を確保することが困難となってきている。市民の生活交通を守ることは、市の交通政策のうえで妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象、意図ともに現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後も市民ニーズに応じた運行形態に改善し、さらに成果向上を目指す。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市民の目的地までの移動手段が減るか又は限定されることで、市民が円滑に移動できなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) 公共交通の手段として、タクシーを使った取り組みが考えられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 乗り合いタクシーなどの交通手段の検討を行う。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 運行回数やコースの見直し又は他の交通手段を検討するとともに、利用推進などによる利用者の増加、運賃値上げにより運行補助額の削減ができる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託契約手続きと見直し検討に係る協議が主になるため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 利用者は広く一般市民を対象としており、公平公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、成果の向上及び類似事業との統廃合・連携の可能性に見直しの余地がある。 ③効率性については、事業費に見直しの余地がある。 ①目的妥当性④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 合志市地域公共交通計画に基づく、他の交通手段との実証実験を踏まえて、運行計画の改善を進める。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	○			向上				維持				低下			
	コスト																								
	削減	維持	増加																						
成果	○																								
向上																									
維持																									
低下																									

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

合志市地域公共交通計画に基づく、他の交通手段との実証実験を踏まえて、見直しの必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)